



埼玉県武蔵野地域では、火山灰に厚く覆われた草原に、江戸時代から木々を植えて平地林を育て、落ち葉を集めて堆肥として畑に入れて土壌改良を行うことで農作物の安定的な生産を実現し、景観や生物多様性を育むシステムが、今なお継承されています。



平成29年に「武蔵野の落葉堆肥農法」が農林省の日本農業遺産に認定され、さらにFAO(国際連合食料農業機関)の世界農業遺産認定を目指して、川越市・所沢市・ふじみ野市・三芳町の農家・JAで構成する協議会の努力が続けられています。この協議会に参加する農家は、4地域販売農家2,400軒中わずか72軒(3%)で、身内だけで落葉掃きをやる場所もあれば、市民を集めた落ち葉掃きイベントを続けているところもあります。落葉堆肥農法を維持することは大変なことですが、コロナ下で行政の支援が期待できなくなっていることや、参加する市民の減少や高齢化へ

の対処が課題となっています。

この農法を支えるために、市民大学の「日本の農業」や「環境倫理」「地域の自然」「地球環境」などの講座を学んだ修了生が、いろいろな環境活動をおこなうサークルを通して毎年の落葉掃きイベントに集まっており、その支援活動は12年にもなります。

今年は、1月8日の所沢市柳瀬地区陽子ファームのイベントに12団体等。1月22日の三芳町伊東園のイベントに6団体。それぞれのイベントに6、70名が集まりました。



武蔵野の風情や、農家さんのハートをじかに感じることでできるこの落葉掃きは、市民にとって得難い体験です。来年も続きますので、ぜひご参加ください。

〈陽子ファーム落葉掃き参加団体等 73名〉

1. 所沢の自然と農業サークル
2. 市民大学ファームの会
3. 山田ファームとワーカーズコープ
4. 東京農工大学 先生方と留学生たち
5. 秩父学園みどりの応援隊
6. がんばれ農業人(トコトコ農園)
7. 市民大学柳瀬OB会
8. 景観市民活動クラブ
9. お達人倶楽部お気楽会
10. 所沢市民ソーラー
11. マザーズ
12. 所沢市議 ほか

〈伊東園落葉掃き参加団体 64名〉

1. 所沢の自然と農業サークル
2. 市民大学ファームの会
3. 山田ファームとワーカーズコープ
4. 東京農工大学 先生
5. 秩父学園みどりの応援隊
6. がんばれ農業人(トコトコ農園)
7. 埼玉森林サポーター ほか

